

## 白内障手術

白内障の治療法は病状の進行段階によって異なり、症状が軽い場合は点眼薬で進行を遅らせ、症状が進行してきたら手術を行います。

白内障の手術は、濁った水晶体を超音波で粉碎して取り除き、代わりに透明な人工水晶体である眼内レンズを挿入する「超音波水晶体乳化吸引術」が一般的です。

通常、眼内レンズは1か所にピント（焦点）が合う「単焦点眼内レンズ」を入れます。ピントの調節機能はありませんので、ライフスタイルに合わせて遠距離、中間距離、近距離のどこにピントを合わせるかをお選びいただきます。

また当院では、遠距離、中間距離、近距離のすべてにピントが合う「多焦点眼内レンズ」をお選びいただくこともできます。従来の光の回折現象を利用した3焦点レンズのほか、近年開発された波面制御型の「焦点深度拡張レンズ」にも対応しています。このレンズは、ごく近距離を除く遠方から中間距離まで連続的に不自由なく見えることが特徴です。



単焦点眼内レンズ

遠方にのみピントが合っている



2焦点眼内レンズ

遠方と近方にピントが合っている



3焦点眼内レンズ

遠方中間近方にピントが合っている

多焦点眼内レンズはレンズ代が全額自己負担になるほか、レンズによっては夜間に光がにじんで見えるなどのデメリットもあるため、担当医とよく相談してから決めるようにしましょう。

※多焦点眼内レンズも手術費や手術前後の検査費用は保険適用です。

※他院からご紹介の患者さまは、手術後に数回診察を行い、問題がなければ紹介元の病院にお戻りいただきます。ただし、多焦点眼内レンズの手術をされた方は、術後に見え方が落ち着くまで当院にて経過観察をさせていただきます。

※当院では、現在の主流である3焦点レンズを採用しており、需要の少ない2焦点レンズは扱っておりませんのでご了承ください。

# 治療費用

●単焦点眼内レンズを入れた場合の自己負担額

(保険適用)

1 割負担	約 15,000 円
2 割負担	約 30,000 円
3 割負担	約 45,000 円

※2024 年 4 月より短期滞在手術等基本料が削減されたため、おおよその目安です。

詳細はご確認ください。

●多焦点眼内レンズを入れた場合の費用

(レンズのみ全額自費、手術費や手術前後の検査は保険適用)

3焦点レンズ	クラレオン パン옵ティクス (通常・乱視用) ビビネックス ジェメトリック (通常・乱視用) ビビネックス ジェメトリックプラス (通常・乱視用) テクニス オデッセイ (通常・乱視用) ファインビジョンHP (通常・乱視用) アクリバ トリノバプロ (通常・乱視用)	眼内レンズに係る費用 (税込) ① 通常 335,000 円 ② 乱視用 375,000 円
焦点深度拡張 レンズ	クラレオン ビビティ (通常・乱視用) テクニス ピュアシー옵ティブルー (通常・乱視用)	眼内レンズに係る費用 (税込) ① 通常 335,000 円 ② 乱視用 375,000 円

※全て税込み

※上記のレンズ価格にプラスして、保険適用の手術費用や検査費用の自己負担額がかかります。

※保険適用の費用については高額療養費制度の対象となり、上限額を超えた金額は支給を受けます。詳しくは厚生労働省の資料を確認するか、ご加入の健康保険組合にお問い合わせください。

厚生労働省 高額療養費制度を利用される皆さまへ